

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2009年4月1日～2024年11月30日の期間に当院にて、巨大気腫性肺嚢胞に対して呼吸器外科手術を受けた患者さん			
② 研究課題名	巨大気腫性肺嚢胞における早期手術の適応と有用性の検討			
③ 実施予定期間	2024年11月～2025年12月			
④ 実施機関	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	三村 剛史	所属	国立病院機構 呉医療センター 呼吸器外科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	三村 剛史	所属	国立病院機構 呉医療センター 呼吸器外科
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、喫煙歴、併存疾患、血液検査、術前CTにおける肺嚢胞の状態、術式、手術時間、出血量、癒着の程度、術後合併症、胸腔ドレーンの抜去前の期間、退院までの日数 ※上記診療情報は、研究終了後まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は研究者によって保管されます。 ※当院の研究者が収集した情報を取り扱います。			
⑧ 目的	巨大気腫性肺嚢胞は、胸腔内の1/3以上を占める大きな肺嚢胞で、主に呼吸困難や咳嗽の症状があります。手術は進行性の増大、気胸や感染の併発、呼吸困難時に行われますが、無症状や軽症、感染症を伴わない症例においては手術時期の明確な基準がなく、治療方針決定の判断が難しいことがあります。本研究では当院で手術を受けられた巨大気腫性肺嚢胞の患者さんを対象に、巨大気腫性肺嚢胞の感染前の早期手術の有用性を検討します。本研究の結果から巨大気腫性肺嚢胞に対する手術適応や手術時期に関する新たな指針を確立することが期待されます。			
⑨ 方法	①に記載の該当患者さんの、⑦に記載している診療情報を収集しデータ解析を行います。 巨大気腫性肺嚢胞の手術された患者さんのうち、感染を併発していた患者さんと併発していなかった患者さんについて、手術中の出血量や手術時間、癒着の程度、術後の合併症などを比較検討します。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2024年11月21日		
	院長承認日	2024年11月21日		
⑪公表	個人情報保護のうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	三村 剛史	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構 呉医療センター 呼吸器外科			

呉医療センター院長